

名古屋民主 Press

名古屋民主市議団
ニュース

新型コロナウイルス 感染症対策について



コロナ禍において名古屋民主市議団は7回にわたり市長へ要望をしてきました。私たちの生活や経済への影響はまだまだ続きます。中小零細企業の従業員の雇用を守るための支援や、子育て世帯への経済支援としての給食無償化、看護師の確保など、山積する課題について引き続き市議団として全力でコロナ対策に取り組んでまいります。



市長要望の様子
令和3年1月15日

生活福祉資金貸付制度の 「緊急小口資金の特例措置」

休業、失業などで収入が減少した世帯を対象に、20万円を上限に無利子で貸付する制度があります。今回の特例措置で従来より要件が緩和されています。詳しくは窓口となる各区の社会福祉協議会へお問い合わせください。

生活に困っている方は迷わず下記または各区の社会福祉協議会へご連絡ください。

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業により、生活資金でお悩みの皆さまへ
相談コールセンター：0120-46-1999 (9:00~21:00 土日・祝日含む) 申請期限：令和3年3月31日(2月16日現在)

時短営業・外出自粛等の影響を受けた 事業者の皆様へ

売上が50%以上減少した中小法人・個人事業者等の皆様に、「緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金」が給付される予定です。(令和3年2月20日現在)

給付額 = (前年または前々年の対象期間の合計売上) - (2021年の対象月の売上×3ヶ月)

中小法人等 ▶ 上限60万円 対象期間 ▶ 1月~3月
個人事業者等 ▶ 上限30万円 対象月 ▶ 対象期間から任意に選択した月

注：時短営業の要請に伴う協力金を受給している飲食店は、重複受給できません。

詳細については [緊急事態宣言の影響緩和に係る一時支援金](#)

いよいよ始まります!

長年にわたり取り組んできた、「子ども医療費の無償化」「敬老パスの利用拡大」が令和3年度中に実現する事となりました。また、名古屋民主市議団が市長に要望し、令和3年度に始まる主な施策をご紹介します。ぜひ中面までご覧ください。



「令和3年度 予算要望」
令和2年9月11日

#1 子ども医療費(医療費・通院費)が 令和4年1月より18歳まで無料に!

名古屋市の通院費は15歳まで、入院費は18歳まで無料でしたが、いよいよ通院費も18歳まで無料となることになりました。令和4年1月からスタートします。



#2 敬老パスの利用拡大が決定! 名鉄・近鉄・JRなどにも利用可能に。

令和4年2月より、敬老パスを名鉄・近鉄・JR(鉄道)と名鉄バス・三重交通バスでも利用できるようになります。

敬老パスで利用できる交通機関

現在	ゆとりーとライン/あおなみ線/市バス/地下鉄	無制限
	名鉄電車/近鉄電車/JR(鉄道) 名鉄バス/三重交通バス	
令和4年2月より	ゆとりーとライン/あおなみ線/市バス/地下鉄	年間730回上限

※名鉄バス、三重交通バス、名鉄電車、近鉄電車、JR(鉄道)は原則、名古屋市内の区間のみ

市政に関するお問い合わせは



うかい春美

中村区太閤通五丁目16



久の美穂

中川区八家町三丁目16



赤松てつじ

中川区好本町二丁目18

令和3年度に予算計上された主な施策を紹介します。

チルドレン ファースト

1 子育て応援! 「ナゴヤわくわくプレゼント事業」

令和3年8月より、子どもが生まれた家庭に子育て必需品を贈る「ナゴヤわくわくプレゼント事業」が始まります。

対象者：令和2年4月1日以降に生まれた子どもがいる家庭

※当初令和3年4月1日以降が対象でしたが、新型コロナウイルス感染症下で子育てする家庭を支援するために、令和2年4月1日以降に生まれた子どもがいる家庭も含まれることになりました。

課題

家庭で育てる場合も、保育園に預ける場合も平等になる様、3歳未満児家庭への支援拡充をめざしていきます。

2 教育のデジタル化を推進 「小中学生へタブレット端末を配備」

小中学生に一人1台のタブレット配備をすることが決定しました。令和3年4月から約半年かけて、市内の小中学校へタブレットの配布を順次進めていきます。また運用方法についても、タブレットを自宅へ持ち帰ることができるよう検討しています。

活用例

一斉学習：教材として動画や音声などを活用
個別学習：AIドリルなどの活用により、一人ひとりの習熟に応じた活用
協働学習：グループや学級全体での発表や話し合いに活用



課題

今回のタブレット導入をきっかけに、より良い学習環境やアプリの充実など、支援の幅を広げていきます。

3 家計負担を軽減 「不妊治療費助成事業」

不妊治療における助成が、「所得制限の撤廃」「事実婚も対象」とされるなど大幅に拡充されることになりました。

課題

将来的に国の制度として保険適用になったとしても、本市独自の支援ができるよう取り組んでいきます。

特定不妊治療費助成事業

内容	現行	拡充後
所得制限	夫婦合算で730万円未満	撤廃
主な助成額	初回 7.5万～30万円	初回以降 10万～30万円
	2回目以降 7.5万～25万円	
助成回数	通算6回(40歳以上43歳未満は3回)	1子ごとに6回(40歳以上43歳未満は3回)
婚姻について	戸籍上の夫婦	事実婚も対象

一般不妊治療費助成事業

内容	現行	拡充後
所得制限	夫婦合算で730万円未満	撤廃
婚姻について	戸籍上の夫婦	事実婚も対象

課題

名古屋高速「栄出入口」の6年後の整備完了に合わせ、栄～大須周辺の回遊性や魅力あふれる街づくりをめざします。

防災

すべての中学校の体育館に エアコンを設置

授業や部活動時の熱中症対策や避難所の環境改善を図るため、すべての市立中学校の体育館に空調設備を設置します。令和5年度までに設置完了予定です。

課題

中学校だけでなく、災害時に避難所として住民の生活拠点となる小学校の体育館等にも空調設備の設置ができるよう、議論を進めていきます。

都市魅力 の向上

日本一高い 市内高速料金の見直し

新料金の具体例(普通車・ETC使用)2021年春

利用区間	現行料金 (均一料金)	新料金
東新町▶吹上東	780円	▶ 320円(1.5km)
東新町▶港明	780円	▶ 550円(8.5km)
東新町▶千音寺	780円	▶ 650円(11.5km)

※現金の場合 入口からの最大距離の料金となります。

名古屋高速道路が、令和3年春より均一料金制から利用距離に応じた料金(対距離制)に変わります。「走った分だけ」の料金になりますので利用しやすくなり、高速利用者が増えれば一般道の渋滞緩和にもつながります。今後、ETC2.0の車載器購入助成キャンペーンも始まります。